



兵庫県立大学×神戸財務事務所共催企画

双方向の県内就職 支援活動にTRY!



◆企画のポイント

- ①兵庫県の課題である学生の「県外就職流出」への対策検討！
②「自分に合った企業とは？」を学生に伝授する方法を検討！

Contents

- ◆企画の背景 ◆企画実施まで① ◆当日の様子① ◆企画を終えて①
◆企画実施まで② ◆当日の様子② ◆企画を終えて②

◆当日の様子①

企業分析に関する講座

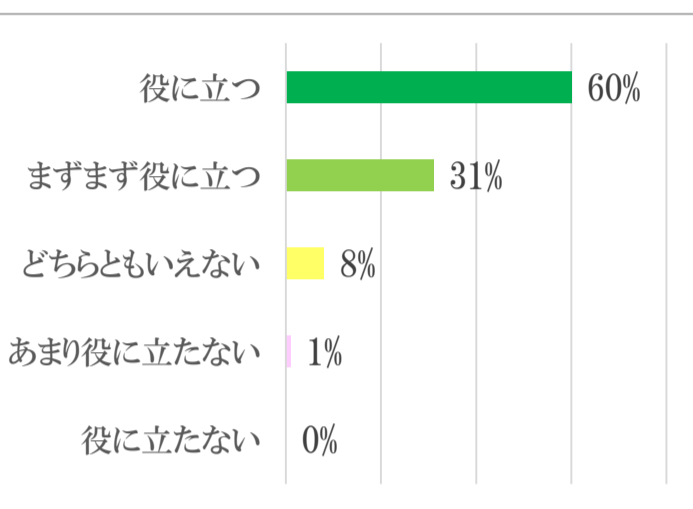
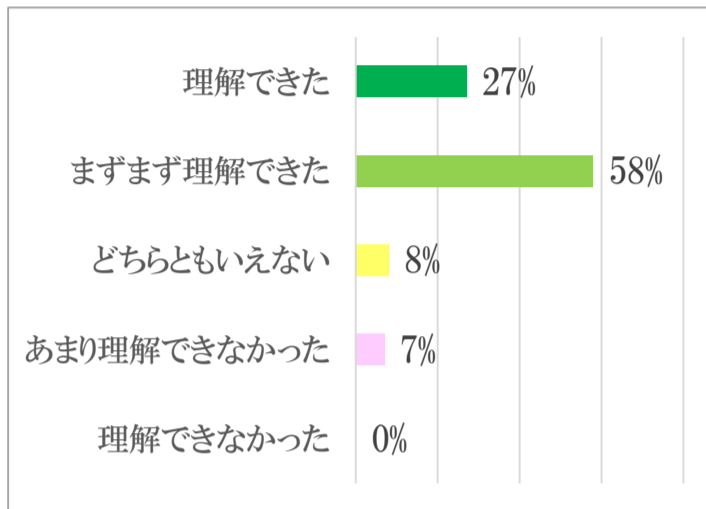
「よくわかる！会社の見方」
当該講座は、就職活動のための企業分析方法についての講座として、平成30年5月16日

内容には、主要な経営指標（売上高や経常利益）をはじめとして、従業員の状況から「平均年齢が高いのに、平均年間給与が低い会社は給与があまり上がらない可能性がある」や「役員比率が高い場合、女性にとって勤務しやすい可能性がある」など、就職活動をする上で学生が気になるような点について、神戸に所在する企業の有価証券報告書を具体例にして説明を行った。

◆企画を終えて①

講座アンケート結果

当該講座のアンケートで、①理解度及び②就職活動に役立ちそうかの問いに関して、①については、理解できた・まずまず理解できたと回答したのは、約85%、②については、役に立つ・まずまず役に立つと回答



◆企画実施まで②

したのは約90%となり、学生にとっては初見である内容が多く、難しい内容であるものにも関わらず、兵庫県立大学と神戸財務事務所の共同連携企画は、良いスタートが切れた。
また、同大学の就職支援担当の方からは「丁寧にわかりやすく講義して頂き、これからの就職活動に役に立つという感想が多かったと思われまます。」との言葉も頂いた。

◆企画実施まで②

アンケート結果分析

今回の企画の重点は、兵庫県の魅力ある企業を知ってもらうことだが、学生はそういった魅力を知らないため、どうすれば企業の魅力を知ってもらえるかちほめんが検討した。その際、先の講座で実施したアンケートの結果を参考とした。

アンケートでは、全体の74%が兵庫県の出身であるものの、そのうち36%が県内就職を希望している状況となっており、全体でも県内就職を希望している学生は約31%となった。
また、就職先として興味のある業種トップ3は、金融機関、公務員、流通・小売の順で、就職活動で重視する点のトップ3は、福利厚生が充実している、安定している、仕事にやりがいがある、の順となっております。

◆企画の背景

このたび、近畿財務局神戸財務事務所は、兵庫県立大学において大学生の県内就職率を向上させるための企画を実施した。同大学では例年、神戸財務事務所長による財政講演と公務員志望の学生向けに財務局の業務説明会を開催しており、平成29年11月に実施した財政講演等の終了後に、同大学の濱田准教授から若手有志PT「神戸ちほめん」(以下、「ちほめん」)に話が合ったことを受け、この企画が始まった。

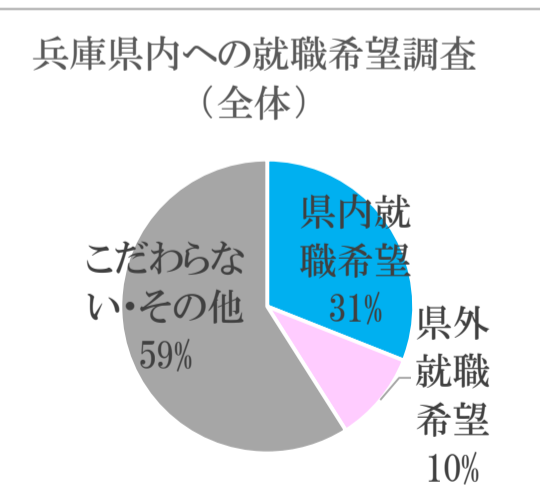
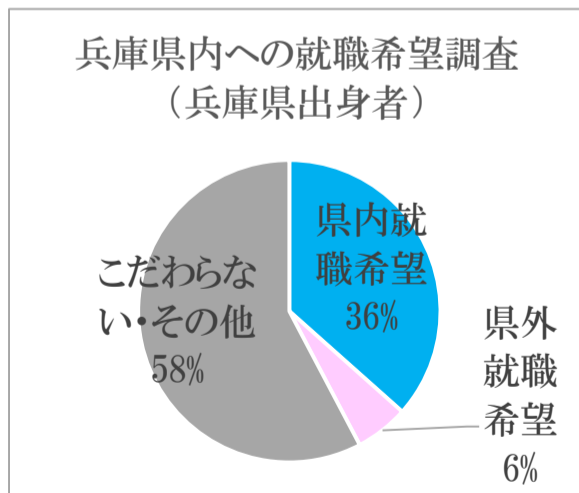
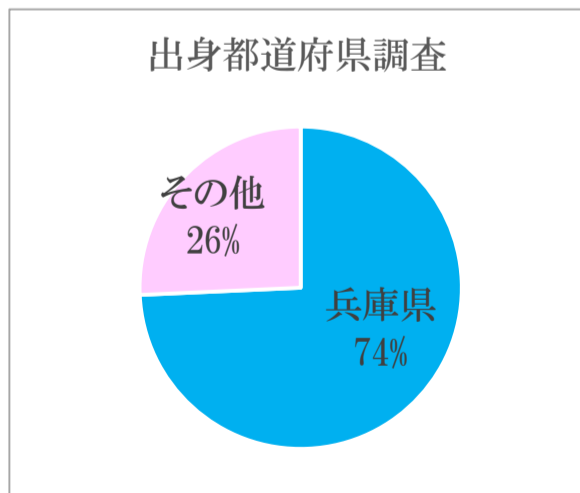
兵庫県立大学は、地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COOL)として、若者の地元定着事業を実施している。その中で、濱田准教授は同大学のキャリアセンターの役割も兼ねており、「学生の県内就職率が低下しており、兵庫県としても学生の他府県への流出が課題となっている」「学生は知名度のある大企業しか知らず、中小企業には見向きもしない」と話した。

この話を受け、ちほめんでは、早速、県内就職率を向上させるための企画を検討し、同大学へ改めて訪問した。
ちほめんが検討した企画の目的は、①兵庫県の企業の魅力を知ってもらい、②兵庫県内企業への就職支援を行うという

もので、これらを通じて地域の活性化を図るもの。当初の企画案では、企業分析の方法等についての講義や一般に行われている企業の合同説明会のような形で、企業紹介を行う形式を打診。

そのような中、同大学の神戸商科キャンパスでは、毎年就職対策講座を全学年を対象に開催しており、業界研究の講座や、企業研究会としてブース形式での企業紹介のほか、合同企業説明会を実施しているとの話があり、この就職対策講座の中で、当事務所との連携講座を実施させていただくこととなった。

この就職対策講座は、5月から翌年の3月まで1年を通して開催され、まず、企業分析に関する講座を初回のオリエンテーション後に実施させていただけることとなった。
次に企業紹介に関しては、年末から年明けにかけて行われる企業研究会又は合同企業説明会の際に1コマで実施することとしたが、具体的な内容については、学生が興味をいだいている業種や就職活動をするにあたって重視する点のほか、学生の県内就職に関する意識などを考慮する必要があるとして、企業分析に関する講座を実施する際にアンケートを取ることにした。



★就職で重視する点ランキング TOP 5

- ①休暇など福利厚生が充実 22%
②安定している 19%
③仕事にやりがいがある 18%
④給与水準が高い 15%
⑤残業が少ない 6%

★就職希望業種ランキング TOP 5

- ①金融機関 16%
②公務員 12%
③流通、小売 10%
④食品 9%
⑤トラベル、航空、運輸 8%

また、企業の魅力を知るために最も有用とされるのが、企業見学（インターンシップ）であると考えられたため、同アンケートで企業を見学できるとした場合、参加を希望するかの有無を聞いたところ、実に96%の学生が見学を希望するとの回答があった。

所内ワークショップの実施

一方、当初大学側では就職対策講座の中で企業紹介を行うことを予定していたが、今回の県内企業の魅力を伝えるのは、早い段階で学生が知っている方が望ましいとして、10月からスタートする全学年を対象とした「地域キャリア論」という講義の中で企業紹介を実施することとなった。

この講義では、兵庫県内で活動する様々な企業・組織の業務内容と、そこで働く人々の生活を知ることで、学生がキャリアプランとライフプランを考えるきっかけとなることを目指し、多種多様な仕事や生き方があることを認識し、東京都や大阪府といった都市圏ではなく、地域（兵庫県）で仕事に就き、生活するキャリアパスを自身の進路の一つとして考慮し、必要な情報を整理できるようにすることを目的としている。具体的には、兵庫県内の企業経営者等から、企業・組織の在り方や、企



パネルディスカッション
パネルディスカッションでは以下のテーマでそれぞれ議論がされた。

- ・仕事のやりがいや辛いこと
 - ・人間関係について
 - ・待遇や福利厚生への納得度
 - ・その会社や業界を選んだ理由
 - ・入社前後のギャップについて
 - ・自身の10年後のビジョン
- そして、企業からの発言は以下のとおりであった。

「仕事のやりがい」

国内で初となる商品企画を提案した。目新しさゆえに社内でも反対意見もあったが、なんとか販売までこじつけ、爆発的なヒット。商品企画については、インターネットなどで情報を収集し、勉強しており、人の縁というものも仕事には重要になってくる。失敗談だが、取引先に案内すべきセミナー情報を、関心が

業人として働く実態について知ることとしている。そして、ちほめんと連携企画は、この講義の最終のコマになった。

このため、最終のコマとしてこれまでの講義の取りまとめの意味合いも含まれるため、今回の大学側の方針と、アンケートの結果を踏まえ、改めて神戸ちほめん企画検討をワークショップ形式で実施した。そして、検討の結果、以下のとおりとなった。

地元根差した地域活性化に貢献している企業、県内一や日本一、世界一など何らかの項目で誇れる企業をテーマにし、当該テーマに沿った企業（金融機関含む）の35歳までの職員（以下、中堅職員）に参加いただき、企業紹介とともに学生と意見交換を実施する。特に中堅職員という点に関しては、これまで企業経営者から話を聞いていることなので、次は中堅職員と意見交換を行うことで、若いうちだからこそ経験できることややりがい、ワークライフバランス、学生時代の過ごし方など、過去・現在・未来について、学生にとつて今後のキャリア形成上、非常に有益になると考えられたためであった。また、意見交換を活性化するため、予め学生から企業に聞きたいことを集約する方法を提案。



そして、大学側との打ち合わせの結果、これらの方式にパネルディスカッションを加えた形での講義にすることとなった。

◆当日の様子②

今回、パネルディスカッション及び意見交換会に御参加いただいた企業は、神姫バス(株)、バンドー化学(株)、但馬銀行(株)みなと銀行の4社。いずれの企業も今回のテーマやアンケートに基づいて選定し、今回の地域キャリア論の講座への御参加を快く引き受けていただいた。そして、満を持して平成31年1月21日(月)の開催を迎えた。当日の流れは、13時から16時10分まで、途中休憩10分を挟み、90分の2コマで実施。1コマ目では、大教室にて鴨谷特任

意見交換・交流会

ないと思ひ込み案内せずにいたら、事後に怒られた、仕事をやる上で、自分の固定観念を取り払うことが重要。

「会社・業界を選んだ理由」

リーマンショックをみて、神戸に所在するなるべく倒産しない企業を希望。大学で学んだことは直接活かせてはいるが、基礎となる部分はある。

地元企業ということで、就職活動の選択肢に入れていた。

入る前は堅い企業というイメージを持っていたが、入ってから若い社員の意見を聞いてくれて採用もしてくれる柔軟な組織であると分かった。

「10年後のビジョン」

10年後は案件の最終判断を行うこともあると予想されるため、マネジメントをしっかりと勉強していきたい。



講師から本日の流れと、初期キャリアの重要性についての講義を行い、当所の若手職員から近畿財務局の取組みとともに、若手の活躍について説明。その後、鴨谷特任講師が「35歳までのキャリア形成」とのテーマで初期キャリアの重要性に関する講義を実施し、人生百年時代のキャリアで、最初にどのような仕事を選び行動するのか、若いうちの経験、キャリア形成が、その後の見交換を実施し、最後に大教室にて各教室で出た話を発表・共有するというプログラム。

講義開始前

13時から開始する講義の前に、企業、県立大学、各教室担当（意見交換時のファシリテーター）及び当局が集まり、顔合わせと、本日の講義の流れなど、最終の確認を実施した。



当局の説明

当所の内田調査官から、近畿財務局の地方創生の取組みとして、学生起業支援の企画や新事業創業者と金融機関等との意見交換会の企画を説明したほか、今回の大阪万博の開催が決定したことにより現在企画している「関西インバウンド」に関する取組みについて説明を行った。



◆企画を終えて②

今回の講座で、企業から10年後のビジョンを持つことで自身のキャリアが違ってくるという話を、海外の研究結果や日本のスポーツ選手を例に挙げて説明され、学生は感銘を受けていた。こうした話を、県内の企業が自身の体験談を交えて説明されたことで、学生がこれまで抱いていた意識が変わり、地元企業の魅力の発掘に繋がっていったのではないかと感じた。実際に講義後のレポートで、「将来のビジョンが明確で魅力ある企業が兵庫県にあることは知らなかった」や「県内就職しても海外で活躍できることを知った」などの感想があった。

また、参加いただいた企業からも「将来のキャリアに向けたお話を大学時代に講義として受けることができるのは、とても羨ましく、私自身も受けたかった内容でもありました。」などの言葉も頂いたところ。

今回の連携企画は、最初の取組みといたってもあり、ちほめん側の不慣れな部分があったものの、鴨谷特任講師から地域キャリア論の講座は来年度も開講予定であり、引き続き連携をと、有難いお話をいただいております。ちほめんとともに活動していきたいと考えています。

【株式会社みなと銀行】



【株式会社但馬銀行】



【バンドー化学株式会社】



【神姫バス株式会社】

